

# 令和7年度富山県立大学大学院工学研究科(博士後期課程)一般選抜学生募集要項

## 1 募集人員

専攻	募集人員
総合工学専攻 ( 機械システム工学分野 知能ロボット工学分野 電子・情報工学分野 環境・社会基盤工学分野 生物・医薬品工学分野 )	10名

## 2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和7年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）  
 ( 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 )
- (8) その他に、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると、本研究科において認めた者で、令和7年4月1日までに24歳に達する者  
 ※ 出願資格(6)、(7)又は(8)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。

## 3 出願手続

- (1) 出願手続方法  
 出願書類等を取りまとめて、本学所定の出願書類用封筒に入れ、出願期間内に『書留速達郵便』で郵送すること。  
 なお、本人が直接持参してもよいが、この場合でも本学所定の出願書類用封筒に入れること。

- (2) 出願期間

総合工学専攻	夏入試	令和6年5月31日(金)～7月5日(金) (期間内必着とする。)
	冬入試	令和6年12月16日(月)～令和7年1月7日(火) (期間内必着とする。)

郵送の場合、郵便事情を考慮して余裕をもって行うこと。

出願期間後に到着したものは、受理しないので注意すること。

ただし、夏入試は7月4日(木)以前の、冬入試は1月6日(月)以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

持参の場合、受付時間は、午前9時から正午及び午後1時から午後5時までとする。土曜、日曜及び祝日は受け付けない。

(3) 出願資格の審査

出願資格(6)、(7)又は(8)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行うので、次の必要書類(所定の用紙は出願手続先に請求)を、夏入試については**令和6年5月22日(水)**までに、冬入試については**令和6年11月15日(金)**までに提出すること。提出された書類の返還は行わない。

なお、資格審査の結果は申請者あてに通知する。

提出書類等	摘要
① 出願資格認定申請書	(所定の用紙)
② 成績証明書 (※)	最終出身校が発行し、厳封したもの
③ 業績調書	出願を希望する分野に関連する研究業績等について所属長が作成し、厳封したもの(所定の用紙)
④ 学術論文等の要旨	研究等に関連する論文がある場合には、その別刷 学術講演、特許等がある場合には、その写し又はその要旨 ※ 要旨は、日本語又は英語で記入すること。 (日本語の場合は1,500~2,000字程度、英語の場合は700~1,000語程度で記入)(所定の用紙)
⑤ 出願資格(6)に関する書類	出願資格(6)該当者 出身大学長等が作成した、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認様式及び当該審査の合格の基準が分かる資料等
⑥ 資格免許証等	出願を希望する分野に関連する各種免許証等、参考となると思われる書類(写)等(簡単な説明等を付すこと。)

※ 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。

(4) 出願手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係  
〒939-0398  
富山県射水市黒河5180  
TEL 0766-56-7500 (代表)

(5) 出願書類等(提出された書類の返還は行わない。)

出願書類等	摘要
① 入学志願票	(様式-1)
② 修士課程修了 (見込)証明書 (※)	出身大学の学長又は研究科長が発行し、厳封したもの (本学出身者は提出不要)
③ 成績証明書 (学部、修士課程) (※)	出身大学の学長又は研究科長等が発行し、厳封したもの (学部及び大学院の成績証明書) (本学出身者は、提出の際の厳封は不要)
④ 受験票・写真票	正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、出願受付日前6か月以内に単身で撮影した写真の裏面に志望分野、氏名を記入し、定められた枠内に貼付すること。(様式-3)
⑤ 受験許可書	他大学大学院博士後期課程に在籍中の者は、学長又は研究科長の、官公庁、企業等に在職している者は、所属長の受験許可書又はこれに代わる書類を提出すること。(様式任意)
⑥ 返信用封筒 ※本学所定の出願書類用封筒の中の長形3号封筒を用いること	受験票の送付に使用するので、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、410円切手を貼付すること。(切手の金額は今後変更する場合がある。)

出 願 書 類 等	摘 要
⑦ 入 学 考 査 料	<p>30,000円</p> <p>本学指定の「令和7年度富山県立大学入学考査料振込依頼書<sup>博士後期試験用</sup>」を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局を除く。）の窓口で納付すること。</p> <p>納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、「入学考査料納付確認票」（様式-4）に全面をのり付けして出願書類に同封すること。</p> <p>なお、<u>本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学考査料は不要</u></p>
⑧ 修 士 論 文 等 の 要 旨	<p>論文等の写し及びその要旨（修了見込み者については、現在の研究内容の概要）</p> <p>※ 要旨・研究内容の概要は、日本語又は英語で記入すること。</p> <p>（日本語の場合は1,500～2,000字程度、英語の場合は700～1,000語程度で記入）（様式-5）</p>
⑨ 研 究 計 画 書 <span style="font-size: 2em;">}</span> 機械システム工学分野 <span style="font-size: 2em;">}</span> 知能ロボット工学分野 <span style="font-size: 2em;">}</span> 電子・情報工学分野 <span style="font-size: 2em;">}</span> 環境・社会基盤工学分野	<p>本研究科での研究計画書 （様式-6）</p>
⑩ TOEIC 又は TOEFL スコア ※ 原本（TOEIC については、デジタル公式認定証（A4印刷したもの）でも可）を提出すること。なお、提出した原本は返却しない。 （生物・医薬品工学分野のみ）	<p>生物・医薬品工学分野志願者は、TOEIC 又は TOEFL スコアを提出すること。</p> <p>本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験した <u>TOEIC L&amp;R（公開テスト）又は TOEFL（iBT）</u> の成績を証明する書類（<u>TOEIC は Official Score Certificate、TOEFL は Test Taker Score Report</u>。以下、スコアという。）の原本（TOEIC については、デジタル公式認定証（A4印刷したもの）でも可）を出願時に提出すること。夏入試は令和3年7月6日以降に受験したもの、冬入試は令和4年1月8日以降に受験したものを有効とする。なお、<u>TOEIC-IP、TOEFL-ITP 等の団体テストの成績は利用できない</u>。</p> <p>○ 夏入試の志願者については、スコアのみ提出期限を令和6年8月2日（金）（期間内必着）とする。また、スコアを提出後、より良いスコア（令和3年7月6日以降に受験したもの。出願後に受験したのもでもよい。）がある場合は、スコアの再提出を認める。この場合の提出期限も令和6年8月2日（金）（期間内必着）とする。（提出先については、出願手続先を参照）</p> <p>※ <b>TOEIC L&amp;R（公開テスト）及び TOEFL（iBT）は実施日及び実施会場が限られているため、成績を証明する書類が手元に届くまでの日数も考慮のうえ、出願時期までに余裕をもって受験しておくこと。</b></p>
⑪ 小 論 文 （生物・医薬品工学分野のみ）	<p>下記の課題について、A4版2枚以内に日本語又は英語で作成し（日本語の場合は1,500～2,000字程度、英語の場合は700～1,000語程度で記入）、所定の小論文表紙に英語（150～250語）による要約及び氏名を記入し、小論文とともに綴じること。（様式-7）</p> <p>「今後、取り組みたい研究分野・課題について」 （これまで学修してきたことを含めて記載すること。）</p>
⑫ そ の 他	<p>ア 外国人の志願者は、上記出願書類のほか住民票（市区町村長発行の在留資格が記載されたもの（住民票が発行されない場合は旅券の写し））及び保証書（様式-8）を提出すること。</p> <p>なお、出願書類には、この住民票記載の氏名を用いること。</p> <p>イ 出願手続後の書類の変更及び返還は行わない。</p>

出 願 書 類 等	摘 要
	<p>ウ いったん受理した入学考査料は次の場合を除き、返還しない。</p> <p>①入学考査料を払い込んだが出願しなかった場合(出願が受理されなかった場合を含む。)</p> <p>②入学考査料を二重に払い込んだ場合</p> <p>&lt;返還請求方法&gt;</p> <p>「振込受付証明書」を貼付した入学考査料の返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学ホームページ (<a href="https://www.pu-toyama.ac.jp/">https://www.pu-toyama.ac.jp/</a>) で確認するか、本学へ問い合わせること。</p> <p>送付先：富山県立大学事務局教務課学生募集係  問合先：0766-56-7500 (代表)</p> <p>エ 障害のある志願者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ちあらかじめ申し出ること。</p> <p>これにより、相談が必要となった場合は、以下による。</p> <p>○相談の期限</p> <p>&lt;夏入試&gt;  令和6年5月22日(水)まで</p> <p>&lt;冬入試&gt;  令和6年11月15日(金)まで</p> <p>○相談の方法</p> <p>下記事項を記載した文書(様式は問わない。)及び医師の診断書を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者との面談等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望分野</li> <li>・障害の種類、程度</li> <li>・受験上の配慮を希望する事項</li> <li>・修学上の配慮を希望する事項</li> <li>・その他</li> </ul> <p>オ 連絡先</p> <p>富山県立大学事務局教務課学生募集係  〒939-0398  富山県射水市黒河5180  TEL 0766-56-7500 (代表)</p>

※ 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。

#### 4 選抜方法及び選抜試験期日

##### (1) 選抜方法

機械システム工学分野 知能ロボット工学分野 電子・情報工学分野 環境・社会基盤工学分野	口述試験の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。
生物・医薬品工学分野	事前提出の小論文、修士論文の概要、TOEIC/TOEFL スコア、面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。

(2) 選抜試験期日

試験区分	期	日	等
	〈夏入試〉	令和6年8月21日(水)	13:15~
	〈冬入試〉	令和7年1月27日(月)	15:00~
機械システム工学分野	口述試験 ・修士論文等の概要及び研究計画書に基づいて行う。 ・機械システム工学分野に関連した質問を行う。 受験者は、修士論文等及び研究計画について20分程度で説明する。プロジェクト等を用いても構わない。		
知能ロボット工学分野	口述試験 ・(1)修士論文や学術論文等の概要または研究の経緯、(2)博士後期課程における研究計画を、合わせて20分程度で説明する。プロジェクト等を用いて説明して構わない。 ・研究内容および研究計画について質疑を行う。		
電子・情報工学分野	口述試験 ・修士論文等の概要及び研究計画書に基づいて行う。 ・プロジェクト等を用いて修士論文等の概要及び博士後期課程における研究計画を合わせて20分程度で発表する。発表スライドを収めたPC等を持参すること。 ・研究内容及び研究計画について質疑を行う。		
環境・社会基盤工学分野	口述試験 ・修士論文等の概要及び研究計画書に基づいて行う。 ・環境・社会基盤工学分野に関連した質問を行う。		
生物・医薬品工学分野	面接(口述試験を含む) ・主に提出された小論文、修士論文の概要及び成績証明書等に基づいて行う。また、生物・医薬品工学分野に関連した質問を行う。 受験者は、予め提出した修士論文の概要と小論文を踏まえて、自身の修士論文と研究計画の内容をパワーポイントなどのプレゼンテーションソフトにまとめて発表する(10分間)。その後、発表内容に基づいて質疑応答を行う。受験者は、希望する受入教員と予め連絡を取ること。		

(注1) TOEIC 又は TOEFL スコアの提出を要する者が、期限までに提出しなかった場合は「失格」とする。

(注2) 集合時刻(別途案内)を厳守すること。遅刻した場合は受験できないことがあるので注意すること。

## 5 選抜試験会場

富山県立大学(射水キャンパス)

〒939-0398

富山県射水市黒河5180

## 6 合格発表

総合工学専攻	夏入試	令和6年8月30日(金)午前10時(予定)
	冬入試	令和7年2月10日(月)午前10時(予定)

合格者の受験番号を本学ホームページ(<https://www.pu-toyama.ac.jp/>)に掲載するとともに、合格者本人宛に郵便で通知する。

なお、電話その他の問合せには一切応じない。

## 7 入学手続

### (1) 入学手続方法

入学手続に要する書類等を取りまとめて、入学手続期間内に持参するか、又は封筒に『大学院入学手続書類在中』と朱書の上、『書留速達郵便』で郵送すること。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

### (2) 入学手続期間

**令和7年3月17日(月)～19日(水)(期間内必着とする。)**

持参の場合、受付時間は、午前9時から正午及び午後1時から午後5時までとする。ただし、土曜、日曜及び祝日は受け付けない。

郵送の場合も、上記の手続最終日まで必着のこと。

### (3) 入学手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係

〒939-0398

富山県射水市黒河5180

TEL 0766-56-7500 (代表)

### (4) 入学手続に要する書類等 (提出された書類の返還は行わない。)

提出書類等	摘要
① 誓約書	(所定の用紙) 生計を同一にしない者を含む2者による保証が必要となります。
② 入学料	ア 金額 282,000円 (富山県の住民の場合 188,000円) イ 納付方法 (ア) 本学指定の「入学金振込依頼書」を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く。)の窓口で納付すること。 (イ) 納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。 ウ ただし、 <u>本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料は不要</u>
③ 写真 (1枚)	正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、入学手続日前6か月以内に単身で撮影したもの 裏面に分野、氏名を記入すること。
④ 修了証明書 (※)	修了見込みで受験した者のみ必要(本学出身者は提出不要)
⑤ 返信用切手	570円切手(切手の金額は今後変更する場合がある。)
⑥ その他	住民票等 富山県の住民の場合のみ必要

入学料は令和6年4月現在

※ 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。

### (5) 入学手続上の注意事項

① 『富山県の住民』とは、本人又はその者の配偶者若しくは1親等の親族が、令和6年4月1日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。

なお、『富山県の住民』の認定は、住民票等によって行う。

② 入学手続が全て終了した者には、入学許可書を交付する。

- ③ いったん納付された入学金は次の場合を除き、返還しない。
- ア 入学金を過払いした場合
  - イ 入学金を二重に払い込んだ場合
- <返還請求方法>
- 「振込受付証明書」を貼付した返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学へ問い合わせること。
- 送付先：富山県立大学事務局教務課学生募集係  
 問合せ先：0766-56-7500（代表）
- ④ その他、入学手続の詳細については、別途通知する。

## 8 入学金・授業料等

### (1) 入学金・授業料等

区 分	金 額	備 考
入 学 料	282,000円	本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学金は不要
富 山 県 の 住 民	188,000円	
授 業 料	535,800円 (年 額)	初年度の前期分は銀行振込、後期分・次年度からは口座引き落としとなる。
学生教育研究災害傷害保険料	3,620円	3か年分
後 援 会 費	10,000円	3か年分
同 窓 会 費	20,000円	入会時のみ（既に入会されている方は不要）

金額は、いずれも令和6年4月現在

年度によって変わることがある。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

### (2) 奨学金・授業料減免制度

日本学生支援機構及び各種奨学金制度がある。

また、学業成績が優秀で、経済的理由により、授業料の納入が困難であると認められる者等については、授業料の全部又は一部を免除する制度がある。

## 9 安全保障輸出管理について

富山県立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「富山県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供や貨物の輸出について、厳格な審査を実施している。

規制事項に該当する場合は、入学を許可されない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願にあたっては注意すること。

## 10 そ の 他

- (1) 提出する書類は黒インク又は黒のボールペンを用い、文字は楷書で、数字は算用数字で記入すること。
- (2) 様式の※印欄は何も記入しないこと。
- (3) ミシン目は切り離さないこと。
- (4) 提出された書類の変更及び返還並びに納入された納付金の返還は行わない。
- (5) 入学許可を受けた者が、修士の学位を取得できなかった場合は、入学を取り消す。
- (6) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学を取り消すことがある。
- (7) 受験票は、出願書類等を受理した後速やかに本人宛に送付するが、選抜試験期日前日になっても受験票が到着しない場合及び選抜試験期日前に受験票を紛失した場合は、富山県立大学事務局教務課学生募集係へ連絡すること。
- (8) 学生募集要項の郵送を希望する者は、郵便番号、住所及び氏名を明記し、620円切手を貼付した返信用封筒〔角型2号(332mm×240mm)〕を同封し、富山県立大学事務局教務課学生募集係宛に『工学研究科（博士後期課程）学生募集要項請求』と朱書して請求すること。（切手の金額は今後変更する場合がある。）
- (9) 志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、住所等の個人情報については、本学の入学者選抜の目的以外で利用することや、第三者に提供することはない。